

大方高校

防災だより

No.7

令和元年 9月24日発行

編集

防災委員
地域学選択生徒

京都大学防災研究室に行ってきました

山崎



地震観測所では地震についての歴史と、たくさんの地震観測機を見ることができました。私たちは生活の中できど地震の揺れを感じますが、身体で感じない程度の揺れを含めると、毎日数えきれないほどの地震が起きていることを知りおどろきました。その揺れを利用して

進化してきた地震観測機は、昔の人の知恵と、現代の技術と努力の成果だと思いました。

逃げトレを使った避難検証

福田・安岡



僕は高齢者体験器具をつけて役場まで避難をしました。関節は曲げにくく歩きづらく、階段を上るときも大変でした。目も視界がぼやけて周りが見えづらく、道路を渡るときに車が来ているか分からなかったので危険だと思いました。安全な時間で逃げることはでき

きたけど、一人で逃げるのは厳しいので、援助が必要だと思いました。また、この日は雨だったので水たまりがあり避難が大変でした。もっと悪い天気の時時間はかかるんだろうなと思いました。

黒潮町総合防災訓練に参加



9月1日黒潮町総合防災訓練に参加し、登校時に地震発生と想定した避難訓練を行いました。

登下校時や外出中に地震が起きたら、まずアタマを守る(落下物や電柱、自販機などから離れる)、広い場所があればそこに向かう、揺れが収まったら高

台へ向かう、学校を目指す、を心がけましょう。また、鉄道に乗車中は乗務員の指示に従いましょう。

「世界津波の日」高校生サミット in 北海道

嶋原



いろんな国の高校生と交流をしてたくさん刺激をもらいました。北海道に着いたときは、自分の英語がちゃんと相手に伝わるか、相手の言っていることが理解できるだろうかと不安でしたが、一生懸命伝えようとすると相手も理解してくれることがわかり、話をするのがどんどん楽

しくなりましたし、自信にもなりました。わたしは高校卒業後も英語を勉強したいと思っていたのですが、今回のサミットに参加したことでよりその思いが強くなりました。サミットの内容は次号でお伝えします。

AMDA 中学高校生会と交流

小島



AMDA 中学高校生会との交流会に参加して、新しい防災知識を知ることができました。お皿を重ねて置くときは、下に中くらいのサイズのお皿を置くと倒れづらいつか、炊き出しの時にアルミ缶を使ってご飯を炊きました。すぐに実行できそうなことをたくさん知れ

たので、今後に生かしていきたいです。

地区防災会で報告

山戸・矢野



「逃げトレ」を使った避難検証の結果を住民の方々に説明に行きました。地震後すぐに避難すれば、大方高校へ向かっても十分間に合うことなどを説明しました。

住民の方からは「ほんまに老人でも間に合うのか」「壊れた壁らあがあって、

そんなにうまく逃げれんがじゃないか」などの質問があり、避難への不安がまだ多くあることがわかりました。安心して大方高校に避難してもらえるよう、今後いろんなことを試して、提案していきたいです。

全校でHUG



1年生は初めてのHUGで、戸惑っている様子も見られましたが、2、3年生のリードのおかげで進むにつれ発言もできていました。

・最初に仲間づくりゲームをしたらやりやすかった・3年は慣れてきたので新しいメンバーとやるのが大事

- ・実際に動いてみるとか、動きのあるHUGをやるといい
- ・1年生ももっと積極的に話してほしい などの意見がでていました。

備蓄袋を用意しておこう！



黒潮町総合防災訓練後のアンケートに、多くの生徒が、水や食料・薬など自分のための用意が必要だと書いていました。学校にいるときに大地震が起こればしばらく学校で生活することになります。備蓄袋がまだの人は用意してもって来ておきましょう。自分に必要な物を入れて、袋はなんでもいいです。名前は書いておいてください。